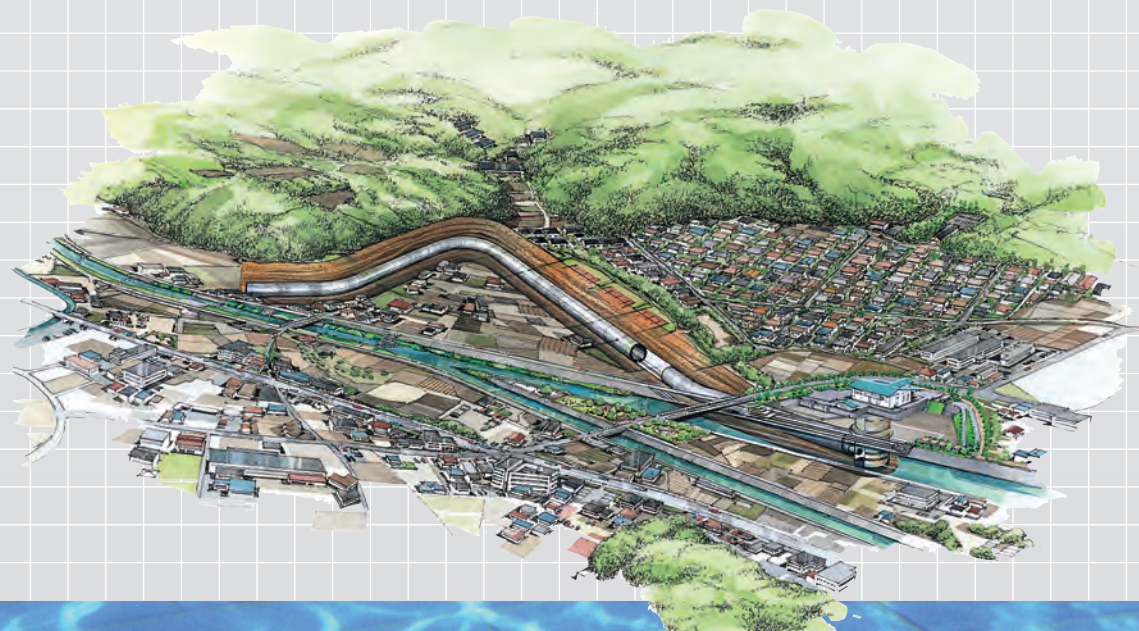


恩廻公園調節池

おんまわしこうえんちようせつち
 恩廻公園調節池は、河川改修以前に鶴見川が流れていた所（現在は公園として利用されている）の下にあり、トンネル構造になっています。

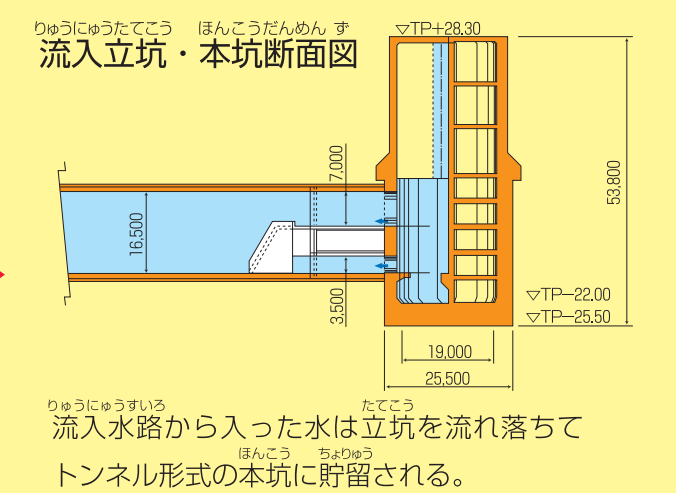
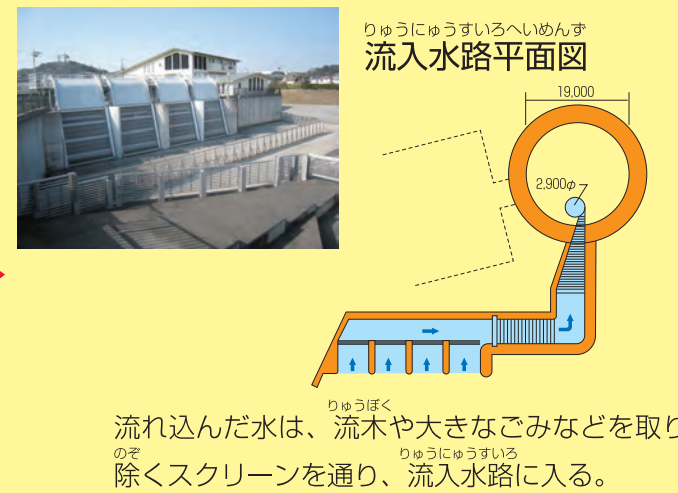
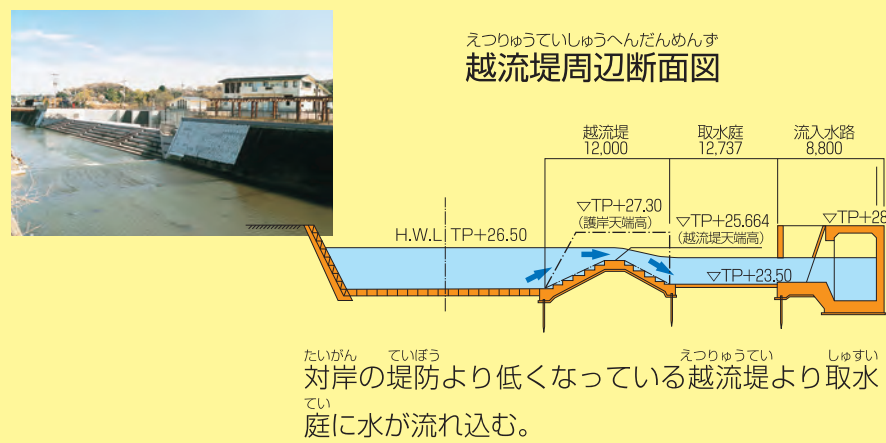
調節池データ

- 河川名 一級河川 鶴見川
- 位置 川崎市麻生区下麻生
東京都町田市三輪町
横浜市青葉区寺家町
- 事業内容 おんまわしこうえん 恩廻公園（鶴見川の旧河川敷）の地下を利用した調節池の設置
- 計画諸元
 面積 2.27ha
 構造形式 地下調節池（トンネル）
 貯留容量 約110,000m³
 トンネル内径 標準直径15.4~16.5m
 トンネル延長 約600m
 排水方式 ポンプ排水
 排水時間 1~2日
 流入方式 横越流流入方式
 越流堤長 80m

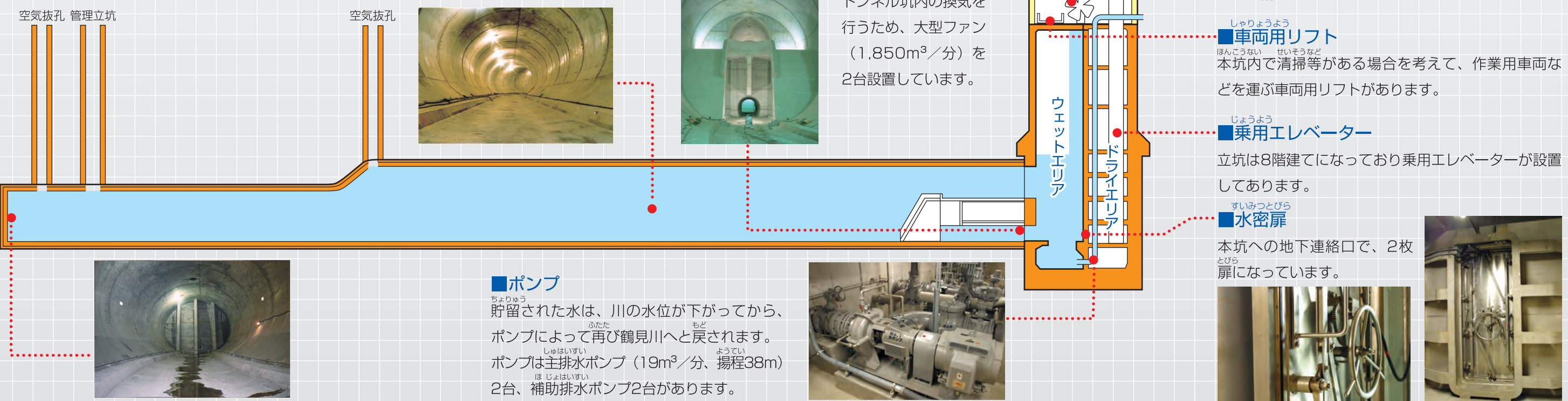


洪水時の 仕組み

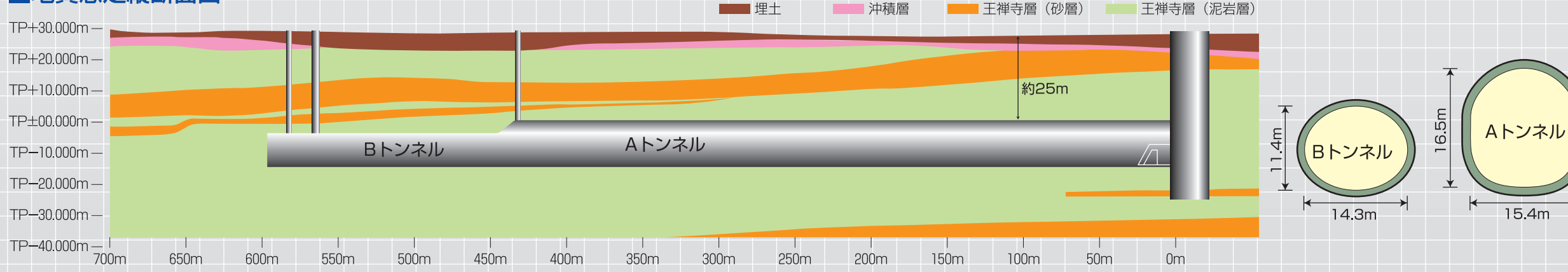
洪水時の流れ



恩廻公園調節池の構造は「取水庭」「立坑」「本坑」にわけることができます。立坑の上には管理棟があります。また立坑は水が流れ落ちる「ウェットエリア」と人が作業などで使う「ドライエリア」に分かれています。



地質想定縦断面図



トンネルは掘削断面積が254m²もある大きなもので、深さ約25mのところで作られています。この部分は約200万年前にできた軟岩(泥岩)という安定した地層です。このトンネルは、穴を掘るのが難しい砂の層をさけるため、Aトンネル・Bトンネルと大きさの違う2つのトンネルで構成されています。

展示室の ご案内

管理棟1階には、恩廻公園調節池の構造、鶴見川や周辺の自然を紹介している展示室があります。パネルの他にビデオや模型を配置し、分かりやすく説明していますので、ぜひご利用ください。



ご利用時間：午前8時30分から午後5時まで
 休館日：月曜日・年末年始(但し月曜日が祝日の場合は翌日)



もっと知りたい! 豆知識

Q 本坑は他のトンネルと比べるとどれくらい大きなの?
A トンネル断面比較図を見ても分かるように、日本でも最大級の大きさです。

Q こんなに大きな本坑をどうやって掘ったの?
A トンネル(本坑)を掘る方法は、NATM(ナトム)工法という方法が使われています。この方法はオーストリアで開発されたもので、穴を掘ったすぐ後にコンクリートを吹きつけるなどして、岩のゆるみをおさえ、安定させるやりかたです。掘削は、図の①~⑦の順で進める上部半断面中央導坑先進工法です。

Q 本坑はどれくらいの水を溜められるの?
A 約110,000m³。25mプール(水深1m)の約330杯分に相当する量です。

Q ポンプの操作はどこでやるの?
A 管理棟にある操作室からコンピュータで操作できます。

掘削図
 1 2 3 4 5 6 7

トンネル断面比較図
 新幹線トンネル 9.2m x 7.1m
 帷子川分水路トンネル 11.2m x 9.0m
 東京湾横断道路トンネル 11.9m x 11.9m
 恩廻公園調節池トンネル 15.4m x 16.5m

管理棟 1階
 330杯